

## 【部会・分科会活動報告】 2009年1,2月度

食 品 安 全 研 究 会	食品安全調査研究部会	特記事項なし
	食品アレルギー研究部会	・1/13 国立相模原病院・今井先生との懇談 翻訳論文 Article on Hazard Characterization in Food Allergen Risk Assessment: ( <i>Food and Chemical Toxicology</i> 2007; 45: 691-701) のサマリースライド説明(岩本様)、討議 ・次回は3/12 第1回例会開催予定
	食品微生物研究部会	部会全体会議(2/9, 10:30-12:30, ILSI-Japan 本部) ・厚生労働科学研究の08年度進捗報告と09年度進め方の議論 厚生労働科学研究 ・工藤先生との意見交換(2/2, 国立衛生研) ・関係企業からの意見収集の実施(2月下旬) 毒性学教育講座(食品リスク研究部会と共催) ・第3回開催(2/9, 14:30-17:00, 講師: 福島昭治先生)
	食品リスク研究部会	09年第1回運営会議開催(2/16, 13:30-16:30, ILSI事務局) 09年活動計画について 毒性学教育講座(食品微生物研究部会と共催) 第3回開催 (2/9, 14:30-17:00, サントリー会議室) 講師: 日本バイオアッセイ研究センター 福島昭治先生 テーマ: 下部消化器毒性、泌尿器系毒性、参加者33名 「イルシー」誌投稿: フラッシュ・レポート「ILSI Japan 毒性学教育講座」の紹介 <次回運営会議: 4/20, 13:30-16:30 (ILSI Japan 事務局)>
	バイオテクノロジー研究部会	ILSI 本部総会の IFBiC 会議に岩元理事に出席をしていただく。報告は「イルシー」誌執筆中。-植物分科会タスクフォース・リーダー会議を1回開催。
	香料研究部会	活動なし
	食品安全研究会全体	ILSI Japan 監査: 担当事業活動説明 1/23、執行委員会 1/28、部会長会議 1/29、理事会 2/2
栄 養 健 康 研 究 会	栄養研究部会	第5回「栄養とエイジング」国際会議の講演録の配布と、英語版のCD-ROMの配布作業を開始した。今後とも販促を進行させる。
	肥満タスクフォース	「日本人の肥満とメタボリックシンドローム - 栄養、運動、食行動、肥満生理研究 - 」の日本語版が完成した。またCD-ROM版での英文版発行に向けて作成を終了し、2月初旬に完成した。今後、本と英語版CD-ROMのセット(500部)での販売を促進していく予定。
	炭水化物研究部会	GRプロジェクトと、2つの分科会(果糖分科会、ダイエット分科会)を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康(肥満、生活習慣病)との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標としている。
	GRプロジェクト	GR測定をプロジェクト参加企業に依頼し、多施設での測定結果のバラツキを検討するリング試験を実施した。測定結果の集計作業を終えた後、2月6日に会合を開きその結果の検討会を行った。
	果糖分科会	1月9日に果糖分科会を開催した。果糖分科会の内容について、レビューとしてまとめたので、それについて意見交換を行った。2月末に、原稿を修正して配信した。投稿先は日本食品新素材研究会誌とした。

	ダイエット分科会	1/9 第 5 回分科会開催。 <i>Journal of Nutritional Science and Vitaminology</i> に投稿した論文の reviewer からのコメントに対する対応について協議。コメント対応論文は、2/3 に採択された。論文タイトルは以下の通り。 Is Glycemic Index of Food a Feasible Predictor of Appetite, Hunger, and Satiety? 掲載予定：55 巻 3 号（2009 年 6 月号）。 第 5 回をもって分科会としての活動は終了する。
	茶類研究部会	2 月 27 日、2009 年第 1 回茶情報分科会を実施。茶葉情報の調査表について進捗を確認。引き続き、武田善行先生（元（独）野菜茶業研究所）のご講演会 演題：日本における茶遺伝資源の収集・保存・特性調査の現状と今後のあり方 を開催した。
	日本の食生活と肥満研究部会	1 月 15 日に全体会を開催し、2 月 17 日のシンポジウムの配布冊子内容、役割分担を確認。2 月 17 日に第 4 回ライフサイエンス・シンポジウムとして、成果発表会を開催。3 名の先生方からの情報提供及び 4 名のメンバーからの成果発表を行った。
	発酵製品の多様性分科会	シンポジウムでは、「発酵食品・調味料に存在する成分が肥満の予防に与える影響」について紹介。岡田先生からは、発酵食品の多様性が味覚や風味に与える影響やヒトの健康に果たす機能について紹介いただいた。
	脂質の種類分科会	シンポジウムでは、「肥満が複合的要因の結果であり、脂質が直接肥満につながるような報告は見られなかったことおよび肥満の第一要因は運動不足であると思われること。脂質は、健康維持には重要な栄養素の一つであり、欠乏は重大な弊害を及ぼすことも含め、正しい情報を国民に提供しなければならない」などを紹介した。
	食事の量分科会	シンポジウムでは、過体重者の割合と炭酸飲料の摂取量が正の相関を示し、文献から肥満と加糖飲料の関連が示唆されることを紹介。また、インターマップ研究から、肥満に關与する食事のパターンとして、夕食での脂肪エネルギー、動物性タンパク質エネルギー比率の高い食事が關与する可能性について紹介した。
	食品機能性研究会	
C H P	CHP 全体	ニューズレター（英語版）発行（No.10）
	Project PAN （Physical Activity and Nutrition）	テイクテン（TAKE10!） 1/6, 13, 14, 15, 16, 22 「すみだテイクテン フォローアップ教室」（墨田区 6 会場） 1/8 『TAKE10! DVD 応用編（仮）』最終試写 1/19 『TAKE10! DVD 応用編（仮）』最終ナレーション録音 MA 1/21, 22, 23 益田市介護予防リーダー養成講座（講師：木村美佳、島根・益田市） 2/3, 10, 19, 20, 25, 26 「すみだテイクテン フォローアップ教室」（墨田区 6 会場） 2/4, 5 益田市介護予防リーダー養成講座（講師：木村美佳、島根・益田市） リズムテン（LiSM10!） 1/26 「LiSM10!」カウンセラー養成研修（講師：丸山千寿子、木村美佳、ILSI Japan 会議室） 2/2 「LiSM10!」カウンセラー養成研修：追加研修（講師：木村美佳、ILSI Japan 会議室）

Project SWAN ( Safe Water and Nutrition )	1/2~5 栄養調査 (ナンディン省チュンタン村) 2/11~13, 17~19, 24 母親、水管理組合対象のフォーカスグループ・ ディスカッション (3 対象地域にて)
Project IDEA ( Iron Deficiency Elimination Action )	1/18~2/1 カンボジア・カンポット州における、市販の鉄強化魚醬 の認知度、購買行動、商品評価等に関する市場調査 (戸別訪問法)、 および現地カウンターパート (RACHA) が担当する Social Marketing の実態調査を実施。
国際協力委員会	
情報委員会	委員会開催 1 回 (1 月)。 日常業務としてのホームページ更新。 「栄養学レビュー」誌 17 巻 2 号 (通巻 63 号) 発刊。3 号 (通巻 64 号) の翻訳・編集作業進行中。女子栄養大との販売契約作業進 行中。 Newsletter 2 号編集作業進行中。
編集部会	「イルシー」誌 96 号発刊。「イルシー」誌 97 号編集作業。

## 【講演会・シンポジウムご案内】

講演会名	案内	担当研究部会

## 【事務局からのお知らせ】

総会	<p>ILSI Japan の平成 21 年度通常総会が 2 月 17 日に昭和女子大学で開催された。</p> <p>1. 定足数確認と開会宣言 正会員総数 81 名の内、出席正会員 29 名、書面表決正会員 27 名、合計 56 名が出席しており、本総会は成立することが報告された。</p> <p>2. 理事長挨拶 木村理事長より Tucson で開催された ILSI 本部総会で肥満に関する議論が活発に行われたことが報告された。</p> <p>3. 議長選任 定款に基づき出席した正会員から味の素 (株) の山口隆司氏を議長に選任した。</p> <p>4. 議事録署名人選出 議事録署名人として、ネスレ日本 (株) の渡辺寛氏、(株) ミツカングループ本社 清水精一氏が選出された。</p> <p>5. 審議の事項と経過の概要および議決の結果 第 1 号議案 平成 20 (2008) 年度事業報告書案承認の件 議案 1 資料「平成 20 (2008) 年度事業報告書案」に基づき事業報告を行い、採決に入り、同議案は承認された。</p> <p>第 2 号議案 平成 21 (2009) 年度事業計画書案承認の件 議案 2 資料「平成 21 (2009) 年度事業計画書案」に基づき事業計画の内容が説明され、その中で ILSI Japan の 30 周年記念事業と</p>
----	---

	<p>して 2011 年に開催する第 6 回「栄養とエイジング」国際会議に対する会員の協力が呼びかけられ、同議案は承認された。</p> <p>第 3 号議案 平成 20 (2008) 年度決算報告書案承認の件 議案 3 資料決算財務諸表に基づき、決算報告があり、町田千恵子監事の監査報告の後、同議案は承認された。</p> <p>第 4 号議案 平成 21 (2009) 年度収支予算書案承認の件 議案 4 資料「平成 21 年度収支予算書案」に基づいて予算案の説明があり、より一層の経費の節減、収入の増加の努力が必要であることが強調され、同案は承認された。</p> <p>第 5 号議案 定款の変更 (案) 議案 5 の資料に基づき、理事の定数を 15 人に増やすと同時に敏速な選任を行うため、理事の選任を総会から理事会に変更する内容を始めとした定款の変更の説明の後、同案は承認された。</p> <p>8 . 報告事項</p> <p>1) 本部総会報告</p> <p>2) 東京大学 ILSI Japan 寄付講座 5 月 13 日に東京大学弥生講堂にて開催される「第 期成果報告会および第 期に向けて」の公開シンポジウムへの参加の呼びかけがあった。</p> <p>3) ILSI Research Foundation ILSI Research Foundation の内容と Global Threshold Project をサポートするための資金の提供の呼びかけがあった。</p>
事務局	特になし